

DEI推進WGだより 第3号



令和6年8月

はじめに

この度「男女共同参画推進WG」は「DEI推進WG」に名称が変更されました。これまでの共同参画では性別やジェンダーの違いについて語られることが多かったのですが、DEIにはさらに多様な個性を尊重し、働きやすい職場を目指すという思いが込められています。

今回のニュースレターでは、私たちのWGの名称にも含まれるDEIについて詳しく取り上げ、皆様にその重要性と具体的な取り組みをお伝えします。

DEIとは？

DEIとは「Diversity（多様性）」「Equity（公平性）」「Inclusion（包括性）」の3つの頭文字を並べたものです。この概念に明確な定義はありませんが、東北大学では「東北大学DEI推進宣言」として

- ・女性教職員の積極的な採用
- ・無意識のバイアスを払拭する意識改革
- ・各人の能力を最大限発揮できる環境
- ・誰もが歓迎、支援、評価される組織等を掲げています。

<https://dei.tohoku.ac.jp/>

Equity（公平性）

誰もが能力を発揮し、それを正當に評価してもらえる環境を意味します。そのためには各個人にどのようなサポートが必要でしょうか？

似た言葉に「平等（Equality）」というものがありますが、これは、全員に同じサポートを提供することです。しかし、多様性を考えると、一人ひとりのニーズに合わせたサポートを行うことで、全員が能力を発揮できる機会を提供することが重要です。

Diversity（多様性）

性別や年齢などの見た目の違いだけでなく、考え方や感じ方といった内面的な個性も含まれます。異なるバックグラウンドを持つ人々が集まることで、新しいイノベーションを起こし、多角的視点による問題解決が可能になります。しかし、多様性を実現するためにはそれだけでは不十分で、次に紹介する「Equity（公平性）」「Inclusion（包括性）」が重要な役割を果たします。

Inclusion（包括性）

多様性を認め、それを活かすことです。例えば、お互いを認め合う関係や、言いたい事の言える環境がこれに該当します。

誰にとっても居心地が良く、お互いの長所を活かし合う職場を目指すには、多様な考え方を受け入れる環境を作り出し、アンコンシャス・バイアス（無意識による偏見）をなくしていくことが重要です。

おわりに

情報科学研究科は既に様々なバックグラウンドの人々が集まる場となっています。研究分野含め多様な人々がいる本研究科は、DEIを推進する上で非常に良い風土を持っています。

この機会に皆様にも是非関心を持っていただき、より良い研究科の実現に向けて協力していけたら幸いです。全てのメンバーが安心して働ける職場を共に実現しましょう。

連絡先

情報科学研究科 DEI推進ワーキンググループ (✉ is-dei@grp.tohoku.ac.jp)
委員長 須川敏幸 (東北大学 大学院情報科学研究科 研究科長補佐)